

## ク 元町まちづくり連合会【東区】 取組年度▶R1

地理・地形	対象災害種	災害脆弱性	地区の範囲	協議主体	取組のテーマ
平野部	地震	揺れ・河川	町内会連合会	まちづくり協議会	災害対応力の向上

### 自助と元町災害対応本部の設置により、安否確認と避難所開設・運営をする

いつ、誰が、何をするかを明確にして自主防災組織の役割を確認し、ワークショップで意見交換を重ねた。やるべきことを簡潔に記載した地区防災計画をA4表裏1枚で作成し、さらに地域内の小学校の協力により児童に手書きしてもらうなど、誰でもわかりやすい防災を目指し取り組んでいる。

#### (1) 地区の概要

東は伏古拓北通・通称パープルロードから、西は東15丁目屯田通（札幌市営地下鉄東豊線）の間、南は一部、北13条までであるが、ほとんどは環状通（東豊線環状通駅）から北の部分で、北は札幌新道（東豊線新道東駅）までの間にある。

#### (2) 災害リスクと課題

北海道胆振東部地震にて札幌市内で最大となる震度6弱を記録した元町地区では、備蓄品や安否確認など多くの自助・共助における課題が見えた。また、大部分の範囲が浸水想定区域に指定されている。

#### (3) 取組の概要

北海道胆振東部地震で直面した自助・共助の課題を出し、過去の災害を教訓とした地区防災計画を作成した。計画は一目でわかるように表裏1枚でまとめ、自助と共助のポイントがわかりやすく理解できるものとした。



ワークショップの様子



給水訓練

#### 🏠 (4) 取組プロセス

日時	回数等	講師等	内容
R1.7	R1 第1回WS	危機管理対策室	演題：どんな地区防災計画をつくるのか WS：いつ・誰が・何をする
R1.8	R1 第2回WS	危機管理対策室	WS：地区防災計画の骨子案の検討
R1.10	R1 第3回WS (東区防災講演会)	山口大学大学院 創成科学研究科 准教授 瀧本 浩一 氏	演題：来るべき災害に向けて地域の防災・ 減災について考える
R1.11	R1 第4回WS	危機管理対策室	WS：地区防災計画の素案の検討
R1.11	R1 第5回WS	危機管理対策室	WS：地区防災計画原案の検討
R2.2	地区防災計画素案作成		

#### 🏠 (5) 会長からのコメント

元町地区防災計画策定ワークショップには、町内会の役員、学校関係者その他地域の団体から多くの方に参加がいただき、北海道胆振東部地震での震度6弱の実体験を通して活発に意見交換がなされました。地区防災計画は、自助及び共助に関する基本方針を定めております。出来上がった地区防災計画は、A4版裏表の1枚物で札幌市危機管理対策室のご支援を受け、とても分かり易い計画が出来上がったものと考えております。計画の一環で作りました元町地区防災マップの裏面を利用して、防災計画を掲載し地域の方々に知っていただくとともに、家族の中で話し合ってください、防災・減災につながればと考えております。



平田 剛 会長

#### 🏠 (6) 有識者からのアドバイス・助言など

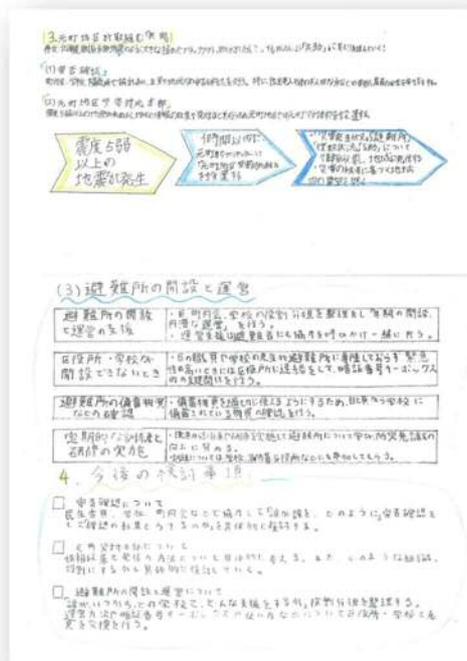
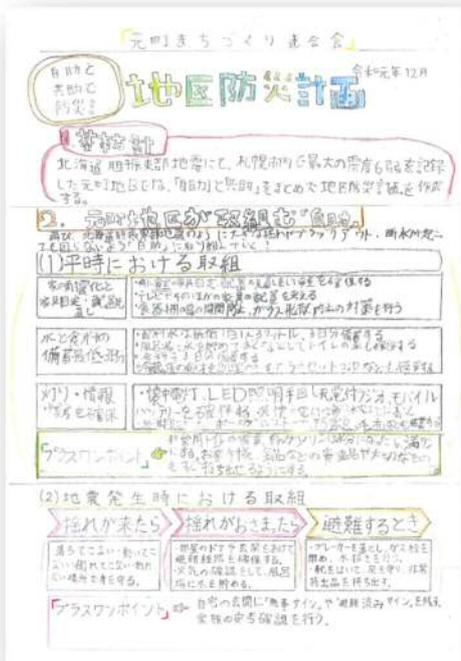
- ・町内会役員だけではなく関係団体も呼んだ場づくりが非常に重要なので、この検討する機会作りを継続して取り組んでほしい。
- ・地区防災計画をA4裏表1枚にしたのは、非常に重要で、地域の人が気軽に読めるものにしたのは大変良い取組。
- ・「自助」の上に「共助」があるものだが、共助は「自助を推進するもの」なので継続して取り組んでほしい。

(三重大 川口准教授)





### ③小学生による計画の手書き



### 計画の説明

#### ①基本方針と元町地区が取り組む自助

北海道胆振東部地震のように大きな揺れやブラックアウト、断水が起ころうとも困らないよう、元町地区が取り組む自助をまとめた。

#### ②元町地区が取り組む共助

「安否確認」「元町地区災害対応本部」「避難所の開設と運営」について、元町地区が取り組む共助をまとめた。

#### ③小学生による計画の手書き

地域内の小学生に計画を手書きしてもらい、親しみやすいように作成した。

